

施策の紹介

ボランティアの存在は今後の市民社会の中で非常に重要な役割を果たしていくものと思われます。ボランティアの重要性を広く浸透させるために、経済企画庁では平成十一年度から普及・啓発のための事業を開拓してきました。その事業について簡単に紹介します。

「ボランティア国際年」に向けて

ボランティアビデオ

年奉仕協会常務理事)

有田 典代氏（関西国際交流団体協議会事務局長）

平成十一年度のボランティア国際年推進事業として、経済企画庁

はボランティア活動の促進に資す

る映像を制作しました。より良い

作品をつくるために、ボランティ

ア国際年映像委員会を設置し、各

方面からの様々な意見を取り入れながら制作が進められました。

【ボランティア国際年映像委員会】

祐成 善次氏（委員長）（日本青

ターフ副部長代理）

まず、ボランティア活動の促進に資することを目的として、大人向けと子ども向けの二つの作品を制作しました。

の支援を映像化することによ

り、これから社会におけるボランティアの重要性を訴える。

子ども向け

タイトル：「スマイル（SMILE）」

所要時間：三十分

作品概要：ダンボールを使っての遊びながらの廃品回収、飯塚市の子ども夜市、和歌山のチャイ

ルドライン（子どもたちによる子どものための電話相談）、愛知県の高校生による高校生フェス

大人向け

タイトル：「ボランティアわっぱ

つは」

所要時間：四十分

作品概要：ボランティアによる知的障害者の支援やアジアいちご

基金によるタイの子どもたちへ

議会全国ボランティア活動振興セン

泊瀬 武氏（NHK番組制作局教養部チーフプロデューサー）

高比良 正司氏（子ども劇場全

国センター代表委員）

安岡 卓治氏（日本映画学校専

任講師）

山谷 哲夫氏（ディレクター&

プロデューサー）

渡邊 昌行氏（全国社会福祉協

議会全国ボランティア活動振興セン

泊瀬 武氏（NHK番組制作局教養部チーフプロデューサー）

高比良 正司氏（子ども劇場全

国センター代表委員）

安岡 卓治氏（日本映画学校専

任講師）

山谷 哲夫氏（ディレクター&

プロデューサー）

渡邊 昌行氏（全国社会福祉協

議会全国ボランティア活動振興セン

泊瀬 武氏（NHK番組制作局教養部チーフプロデューサー）

高比良 正司氏（子ども劇場全

国センター代表委員）

安岡 卓治氏（日本映画学校専

任講師）

山谷 哲夫氏（ディレクター&

プロデューサー）

渡邊 昌行氏（全国社会福祉協

議会全国ボランティア活動振興セン

泊瀬 武氏（NHK番組制作局教養部チーフプロデューサー）

高比良 正司氏（子ども劇場全

国センター代表委員）

安岡 卓治氏（日本映画学校専

任講師）

山谷 哲夫氏（ディレクター&

プロデューサー）

渡邊 昌行氏（全国社会福祉協

議会全国ボランティア活動振興セン

泊瀬 武氏（NHK番組制作局教養部チーフプロデューサー）

高比良 正司氏（子ども劇場全

国センター代表委員）

安岡 卓治氏（日本映画学校専

任講師）

山谷 哲夫氏（ディレクター&

プロデューサー）

渡邊 昌行氏（全国社会福祉協

議会全国ボランティア活動振興セン

泊瀬 武氏（NHK番組制作局教養部チーフプロデューサー）

高比良 正司氏（子ども劇場全

国センター代表委員）

安岡 卓治氏（日本映画学校専

任講師）

山谷 哲夫氏（ディレクター&

プロデューサー）

渡邊 昌行氏（全国社会福祉協

議会全国ボランティア活動振興セン

泊瀬 武氏（NHK番組制作局教養部チーフプロデューサー）

高比良 正司氏（子ども劇場全

国センター代表委員）

安岡 卓治氏（日本映画学校専

任講師）

山谷 哲夫氏（ディレクター&

プロデューサー）

渡邊 昌行氏（全国社会福祉協

議会全国ボランティア活動振興セン

泊瀬 武氏（NHK番組制作局教養部チーフプロデューサー）

高比良 正司氏（子ども劇場全

国センター代表委員）

安岡 卓治氏（日本映画学校専

任講師）

山谷 哲夫氏（ディレクター&

プロデューサー）

渡邊 昌行氏（全国社会福祉協

議会全国ボランティア活動振興セン

泊瀬 武氏（NHK番組制作局教養部チーフプロデューサー）

高比良 正司氏（子ども劇場全

国センター代表委員）

安岡 卓治氏（日本映画学校専

任講師）

山谷 哲夫氏（ディレクター&

プロデューサー）

渡邊 昌行氏（全国社会福祉協

議会全国ボランティア活動振興セン

泊瀬 武氏（NHK番組制作局教養部チーフプロデューサー）

高比良 正司氏（子ども劇場全

国センター代表委員）

安岡 卓治氏（日本映画学校専

任講師）

山谷 哲夫氏（ディレクター&

プロデューサー）

渡邊 昌行氏（全国社会福祉協

議会全国ボランティア活動振興セン

泊瀬 武氏（NHK番組制作局教養部チーフプロデューサー）

高比良 正司氏（子ども劇場全

国センター代表委員）

安岡 卓治氏（日本映画学校専

任講師）

山谷 哲夫氏（ディレクター&

プロデューサー）

渡邊 昌行氏（全国社会福祉協

議会全国ボランティア活動振興セン

泊瀬 武氏（NHK番組制作局教養部チーフプロデューサー）

高比良 正司氏（子ども劇場全

国センター代表委員）

安岡 卓治氏（日本映画学校専

任講師）

山谷 哲夫氏（ディレクター&

プロデューサー）

渡邊 昌行氏（全国社会福祉協

議会全国ボランティア活動振興セン

泊瀬 武氏（NHK番組制作局教養部チーフプロデューサー）

高比良 正司氏（子ども劇場全

国センター代表委員）

安岡 卓治氏（日本映画学校専

任講師）

山谷 哲夫氏（ディレクター&

プロデューサー）

渡邊 昌行氏（全国社会福祉協

議会全国ボランティア活動振興セン

泊瀬 武氏（NHK番組制作局教養部チーフプロデューサー）

高比良 正司氏（子ども劇場全

国センター代表委員）

安岡 卓治氏（日本映画学校専

任講師）

山谷 哲夫氏（ディレクター&

プロデューサー）

渡邊 昌行氏（全国社会福祉協

議会全国ボランティア活動振興セン

泊瀬 武氏（NHK番組制作局教養部チーフプロデューサー）

高比良 正司氏（子ども劇場全

国センター代表委員）

安岡 卓治氏（日本映画学校専

任講師）

山谷 哲夫氏（ディレクター&

プロデューサー）

渡邊 昌行氏（全国社会福祉協

議会全国ボランティア活動振興セン

泊瀬 武氏（NHK番組制作局教養部チーフプロデューサー）

高比良 正司氏（子ども劇場全

国センター代表委員）

安岡 卓治氏（日本映画学校専

任講師）

山谷 哲夫氏（ディレクター&

プロデューサー）

渡邊 昌行氏（全国社会福祉協

議会全国ボランティア活動振興セン

泊瀬 武氏（NHK番組制作局教養部チーフプロデューサー）

高比良 正司氏（子ども劇場全

国センター代表委員）

安岡 卓治氏（日本映画学校専

任講師）

山谷 哲夫氏（ディレクター&

プロデューサー）

渡邊 昌行氏（全国社会福祉協

議会全国ボランティア活動振興セン

泊瀬 武氏（NHK番組制作局教養部チーフプロデューサー）

高比良 正司氏（子ども劇場全

国センター代表委員）

安岡 卓治氏（日本映画学校専

任講師）

山谷 哲夫氏（ディレクター&

プロデューサー）

渡邊 昌行氏（全国社会福祉協

議会全国ボランティア活動振興セン

泊瀬 武氏（NHK番組制作局教養部チーフプロデューサー）

高比良 正司氏（子ども劇場全

国センター代表委員）

安岡 卓治氏（日本映画学校専

任講師）

山谷 哲夫氏（ディレクター&

プロデューサー）

渡邊 昌行氏（全国社会福祉協

議会全国ボランティア活動振興セン

泊瀬 武氏（NHK番組制作局教養部チーフプロデューサー）

高比良 正司氏（子ども劇場全

国センター代表委員）

安岡 卓治氏（日本映画学校専

任講師）

山谷 哲夫氏（ディレクター&

プロデューサー）

渡邊 昌行氏（全国社会福祉協

議会全国ボランティア活動振興セン

泊瀬 武氏（NHK番組制作局教養部チーフプロデューサー）

高比良 正司氏（子ども劇場全

国センター代表委員）

安岡 卓治氏（日本映画学校専

任講師）

山谷 哲夫氏（ディレクター&

プロデューサー）

渡邊 昌行氏（全国社会福祉協

議会全国ボランティア活動振興セン

泊瀬 武氏（NHK番組制作局教養部チーフプロデューサー）

高比良 正司氏（子ども劇場全

国センター代表委員）

安岡 卓治氏（日本映画学校専

任講師）

山谷 哲夫氏（ディレクター&

プロデューサー）

渡邊 昌行氏（全国社会福祉協

議会全国ボランティア活動振興セン

泊瀬 武氏（NHK番組制作局教養部チーフプロデューサー）

高比良 正司氏（子ども劇場全

国センター代表委員）

安岡 卓治氏（日本映画学校専

任講師）

山谷 哲夫氏（ディレクター&

プロデューサー）

渡邊 昌行氏（全国社会福祉協

議会全国ボランティア活動振興セン

泊瀬 武氏（NHK番組制作局教養部チーフプロデューサー）

高比良 正司氏（子ども劇場全

国センター代表委員）

安岡 卓治氏（日本映画学校専

任講師）

山谷 哲夫氏（ディレクター&

プロデューサー）

渡邊 昌行氏（全国社会福祉協

議会全国ボランティア活動振興セン

泊瀬 武氏（NHK番組制作局教養部チーフプロデューサー）

高比良 正司氏（子ども劇場全

国センター代表委員）

安岡 卓治氏（日本映画学校専

任講師）

山谷 哲夫氏（ディレクター&

プロデューサー）

渡邊 昌行氏（全国社会福祉協

議会全国ボランティア活動振興セン

泊瀬 武氏（NHK番組制作局教養部チーフプロデューサー）

高比良 正司氏（子ども劇場全

国センター代表委員）

安岡 卓治氏（日本映画学校専

任講師）

山谷 哲夫氏（ディレクター&

プロデューサー）

渡邊 昌行氏（全国社会福祉協

議会全国ボランティア活動振興セン

泊瀬 武氏（NHK番組制作局教養部チーフプロデューサー）

高比良 正司氏（子ども劇場全

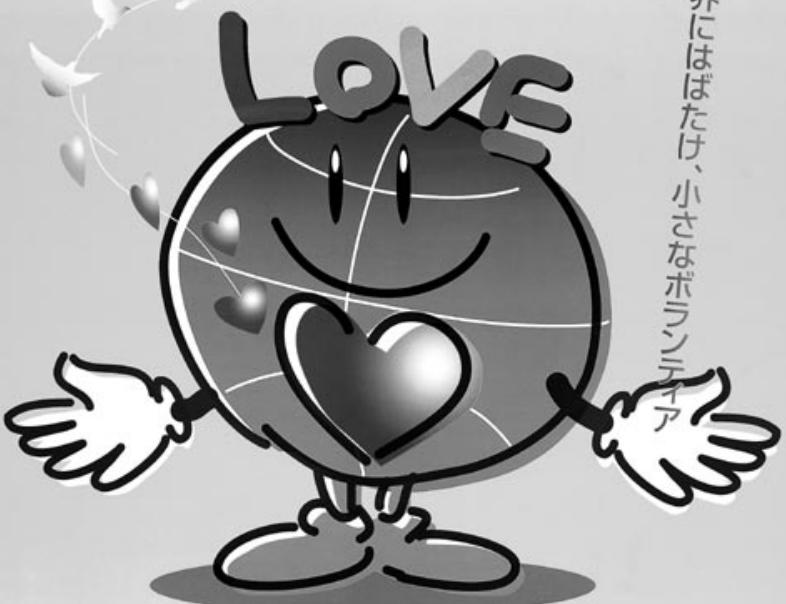
国センター代表委員）

安岡 卓治氏（日本映画学校専

任講師）

世界にはばたけ、小さなボランティア

経済企画庁



及び一〇〇一年ボランティア国際年推進協議会が後援しました。

四月からポスター、説明会などで告知が行われ、八月四日には出品者から作品の搬入が行われました。特別テーマについては、ポスター三百六十七点、計六百九十二点の応募がありました。それらの作品の中から二科会「デザイン部」、経済企画庁、外務省、一〇〇一年ボランティア国際年推進協議会による

三百六十七点、計六百九十二点の応募がありました。それらの作品の中から二科会「デザイン部」、経済企画庁長官賞、外務大臣賞、経済企画庁長官賞、外務大臣賞、アート・芸術面、「ボランティア国際年」のマスクコットキャラクターとするなど、多岐にわたる賞が選ばれました。

セージ性などの観点から選考が行われ、以下の作品がそれぞれ選ばれ、以下の賞に選ばれました。特別賞として、絏済企画庁長官賞は、高橋秀司さん（愛媛県）のポスター

併せて、絏済企画庁長官賞のポスター作品の一部を「ボランティア国際年」のマスクコットキャラクターとしてすることを決定しました。マスクコットキャラクターについて

は、国際年関連イベントをはじめとする様々な場で、「ボランティア国際年」の趣旨・目的という面、メタ



「ボランティア国際年」のマスコットキャラクター「ハーティーくん」

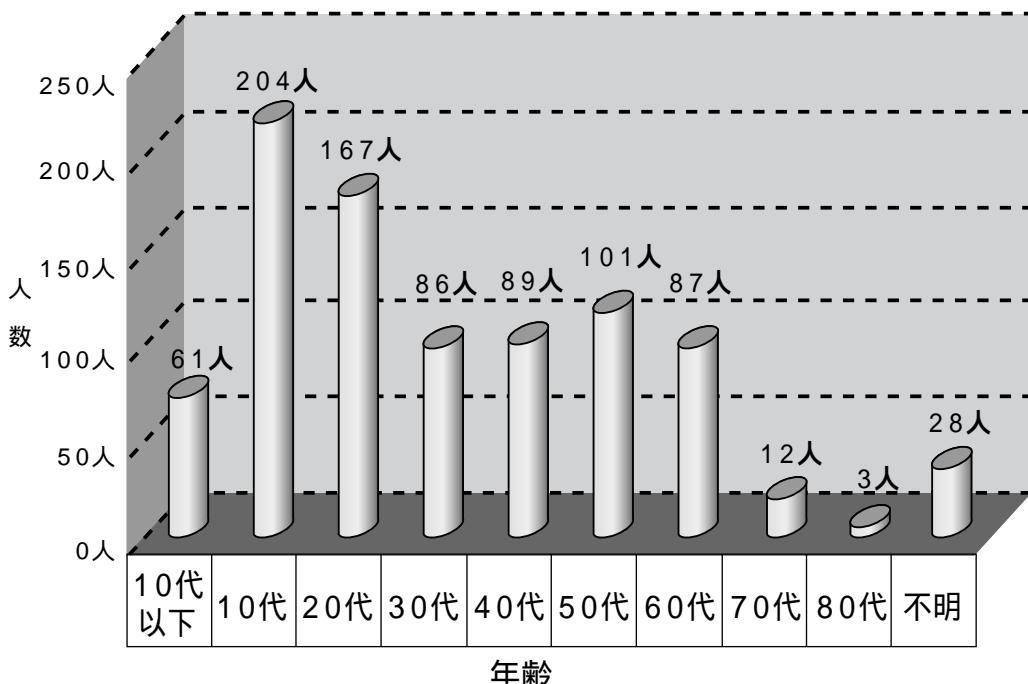
「ア国際年」の普及・啓発のために使用することにしていましたが、その際に名称があつたほうが使いやすい、親しみやすい等の理由から、マスコットキャラクターの名称を募集することにしました。

八月二十九日から九月二十一日の二十四日間、チラシ、ホームページ、二科展東京会場で告知を行

い、郵送、メール及び二科展東京会場での投票の三種類の応募方法により募集を行ったところ、八百三十八人の方から八百八種類、七十一点の応募がありました。「国1」。それらのうち、分かりやすさ、親しみやすさなどの視点から検討を行い、その結果、キャラクターの名称が、「ハーティーくん」に決定しました。

応募された方々の中から「ハーティーくん」と応募していただいた方及び抽選で当選した方、合わ

[図1] マスコットキャラクターの名称募集状況（年齢別）

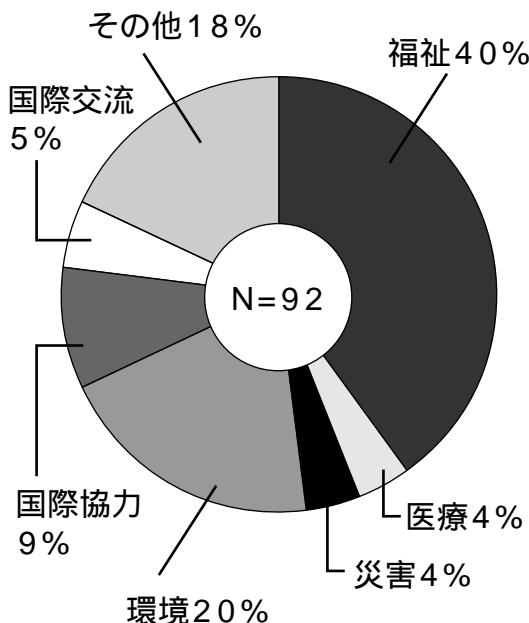


せて五十の方に「ハーティーくん」をデザインしたテレフォンカードが贈られました。今後、「ボランティア国際年」に関係する様々なところでマスクットキャラクター「ハーティーくん」を活用していきたいと考えています。

マスクットキャラクター「ハーティーくん」の使用希望については、経済企画庁国民生活局余暇・市民活動室までご連絡ください。

フォトコンテストと写真展

平成十二年度はキャラクターなどの募集に続き、「ボランティア国際年」であることを普及させるための事業の一環として、五月三十日から八月三十



経済企画庁長官賞：長田 正紘
さん（大阪府）「魚の住める川
に！」
経済企画総括政務次官賞：大月
鎮子さん（東京都）「愛に囲ま
れて」
経済企画総括政務次官賞：岩村
佐保子さん（栃木県）「つかめ
たよ！」
国民生活局長賞：北川 善剛さ
ん（千葉県）「『心のケア』IN
台湾」

四十点の優秀作品については、十月二十三日から一十六日の四日間、千代田区丸の内にある東京国際フォーラムのロビーギャラリーにおいて「ボランティア国際年記念写真展」を開催して、多くの方に写真を見ていただきました。

今後、各地において開催されるボランティア国際年地方シンポジ

一日の間で募集を行いました。短

期間の募集にもかかわらず、九十

点の応募がありました。応募作

品をボランティアの種類別に分けたのが、「図2」です。ちなみに、

最年長は七十一歳、最年少は十七歳でした。

浅井 慎平氏（写真家）（審査委員長）

写真家の浅井慎平氏をはじめと

瀬田 信哉氏（財団法人自然公園美化管理財団専務理事）

十八日に行われ、その結果、次の

長沢 恵美子氏（経団連1%クラブ事務局、ボランティア国際年推進協議会広報委員）

方々の作品が賞に選ばされました。

牟田 梢三氏（俳優、世田谷ボ

また、そのほかに三十五点が入選

西藤 冲氏（財団法人日本総合研究所所長）

経済企画庁長官賞：長田 正紘

池田 実（経済企画庁国民生活

研究室所長）

局長）

十

月二十三日から一十六日の四日

間、千代田区丸の内にある東京国

際フォーラムのロビーギャラリー

において「ボランティア国際年記

念写真展」を開催して、多くの方

に写真を見ていただきました。

今後、各地において開催される

ボランティア国際年地方シンポジ

ム（山梨県）「よみがえれ！砂漠の緑」

なお、審査委員は次のとおりで



「ボランティア国際年記念写真展」の会場風景
(東京国際フォーラムのロビーギャラリー)

経済企画庁長官賞受賞作品

「魚の住める川に！」(長田 正紘さん)

経済企画総括政務次官賞受賞作品
「愛に囲まれて」(大月 鎮子さん)



経済企画総括政務次官賞受賞作品
「つかめたよ！」(岩村 佐保子さん)

ウムの会場口ジーなどにおいて、四十点の優秀作品が展示される予定になっています。

一日経済企画庁におけるボランティア団体との懇談会

経済企画庁幹部が地域に出向いて、地方公共団体、地方業界団体及び地域住民に対し、経済政策の取組や国民生活・消費者行政などを説明するとともに、日本新生プランを具体化するための経済政策の取りまとめに当たり、地域における固有の課題を把握するため、地域経済動向等をヒアリングする「一日経済企画庁」が以下の日程で行われました。

七月十九日（水）沖縄（那覇）
八月二十一日（火）～二十二日（水）北海道（札幌、有珠山周辺）
九月四日（月）石川（金沢）
九月五日（火）福岡（福岡）
九月六日（水）兵庫（神戸）
九月七日（木）宮城（仙台）
北海道社会福祉協議会（村田参

九月十一日（月）愛媛（松山）
各地において、商店街や消費者活動センターの視察、地元各界との意見交換会、経済企画庁長官、経済企画総括政務次官による記念講演などが行われました。

また、経済企画庁は、国民生活の向上の観点から、以前より各省

庁の行うボランティア施策を取りまとめています。またボランティア活動をはじめとした市民が行う社会貢献活動を促進する目的で成立した特定非営利活動促進法（NPO法）の所轄庁の一つでもあることから、北海道においては今年三月の有珠山噴火の際活動されたボランティア団体、兵庫においては平成七年の阪神・淡路大震災の際に活躍されたボランティア団体との懇談会が行われました。

懇談会に出席されたそれぞれの地域のボランティア団体の方は以下の方たちです。

八月二十一日（火）北海道（有珠山周辺）
九月六日（水）兵庫（神戸）
九月七日（木）宮城（仙台）
北海道社会福祉協議会（村田参

事）、赤十字心のケアセンタ（斎藤副校長）、伊達市社会福祉協議会（佐藤事務局長）、虻田町社会福祉協議会（木村会長）、（社）伊達青年会議所（唯木理事長）、（社）洞爺青年会議所（能登理事長）、（社）洞爺青年会議所（能登理事長）、（社）洞爺青年会議所（能登理事長）、（社）日本青年会議所北

海道地区道南ブロック協議会（鈴木会長）、北海道YMC（佐藤ディレクター）、（有）ピーファイブ（山崎代表取締役）、愛全会ボランティアセンター（入江コータイネーター）、虻田町ボランティア連絡協議会（三浦会長）、長万部町ボランティア連絡協議会（吳会長）、（社）北海道獣医師会（玉井獣医師）

（山崎代表取締役）、愛全会ボランティアセンター（入江コータイネーター）、虻田町ボランティア連絡協議会（三浦会長）、長万部町ボランティア連絡協議会（吳会長）、（社）北海道獣医師会（玉井獣医師）

・情報の発信地に人や物資が集まる傾向があり、情報発信の重要性を感じた。
・ボランティア活動をする側にも心のケアが必要である。
・ボランティア活動をしようとすると時、問い合わせ先が分からずたらい回しにされているようなことがあつてはならない、自発的意思の受け口が必要であると感じた。

また、兵庫においては、阪神・淡路大震災後五年以上活動してきた感想並びに意見が出されました。
・「困ったときはお互い様」という形でスタートし、途中で支援を受けた。
から自発的活動の手助けに活動内容が変わつていった。



- ・ボランティア活動を「してあげる」という意識から自分自身の暮らしの問題として考えるようになった。
- ・ボランティアを育てようというのはいいが、その結果、一億二千万人がボランティアになったときに、ボランティアができる人の問題が出てくる。できなことをできないと言つていよいのではない。
- ・民間をもつと信用して行政はサポートしていただきたい。
- ・地域をつくるのはハードではなくて人なので、ここへのサポートをお願いする。
- ・NPOへの寄付への優遇措置をお願いする。
- ・堺屋経済企画庁長官からは、被災された方へのお見舞いと救援活動に当たられたボランティアの方々へのお礼と、次のような意見が出されました。
- ・現地のニーズを把握し、ボランティアの意思を生かすために

は、ネットワークの構築が不可欠である。

- ・ボランティア活動のノウハウを蓄積して、情報発信していくほしい。
- また、経済企画庁においても、NPOの我が国経済社会における重要性に鑑み、一定の要件を満たす特定非営利活動法人に対し、優遇措置を設けることを内容とする税制改正を大蔵省及び自治省に提出しているなど、今後も市民活動促進のための施策を行っていく旨の説明が行われました。

ボランティア国際年 キックオフ記念シンポジウム

Kick-off Symposium for the International Year of Volunteers ボランティア国際年キックオフ記念シンポジウム

2001年ボランティア国際年に向けたボランティアの集い

主催：経済企画庁 国連ボランティア計画 2001年ボランティア国際年推進協議会
共催：外務省 文部省 厚生省 労働省 自治省

あいさつする堺屋経済企画庁長官



国際年推進協議会、共催：外務省、文部省・厚生省・労働省・自治省）が開催されました。

堺屋経済企画庁長官のあいさつ後、第一部として、世界、アジア、日本からの二十一世紀のボランティアに期待するメッセージが発信されました。

ここでは、その要旨の一部を紹介します。

『世界からのメッセージ』

シャロン・ケイブリング・アラキ
ジャ国連ボランティア計画事務局長
・東ティモールにおける国連の平和維持活動として様々なボランティアが活躍した。

・ボランティア活動は年齢を超えて老若一体となる機会を提供するものである。
・ボランティアに関しては、自ら選んで参加するといつことが大切である。

・ボランティア活動をしている人たちの環境整備を行う必要がある。

・インターネットを活用したボラ

ンティアの呼びかけは非常に有効である。

『アジアからのメッセージ』

カン・ヒョン・リー ボランティア国際年韓国委員会運営委員長
・ある調査によると、二十歳以上の韓国人のうち、一四%の人たちが一週間に平均一・二時間ボランティア活動に携わっており、金額に換算すると二十億四千五百万ドルに相当する。

・韓国では、中学生、高校生はボランティアが義務づけられるが、適切なプログラムなど環境整備が今後の課題となっている。

・韓国では、中学生、高校生はボ

ランティアが義務づけられるが、適切なプログラムなど環境整備が今後の課題となっている。

・受身ではなく、創造・構築するという形成概念に立つということがボランティアの原則である。

・ボランティアサッカー大会を開催している。

『日本からのメッセージ』

阿部志郎「広がれボランティアの輪」連絡会議会長
(ボランティア国際年推進協議会代表、明治学院大学副学長)を口一

や宗教の違いを超えて、二つの原理が働いている。一つは人からしてほしいと思うことをその

とおり人にしなさい（聖書）、もう一つは己の欲せざるところに施すなけれ（論語）。積極的な行動と自制とのバランス、ヨーロッパがつくった与える文化

とアジアがつくり出してきた受けの文化とをいかに均衡させながら新しい文化をつくり上げる

かが二十一世紀の課題である。

以下は、「ボランティア国際年」を進めていくために何が大切かと

いう山崎氏の質問に対するパネリストの答えです。

think globally act locally

・グローバルに考えて、シンク グローバリー、アクト

・ボランティア이라는のは相手に光を見つけて、自分も相手とともに照らされる、そういう社会をつくり出していく人生の豈み

のプロセスではないか。

続いて、基調講演をしていただ

いた三人に経済企画庁の池田国民生活局長を加え、山崎美貴子氏

（ボランティア国際年推進協議会代

表、明治学院大学副学長）を口一

ディネーターとしてパネルディスカッションが行われました。ボランティア活動の中でもユニークな活動例やエイ（情報技術）革命によるボランティア活動の円滑化、ボランティア活動のためのインフラ整備など、話題は多岐にわたりました。

以下は、「ボランティア国際年」を進めていくために何が大切かという山崎氏の質問に対するパネリストの答えです。

以下は、「ボランティア国際年」を進めていくために何が大切かと

いう山崎氏の質問に対するパネリストの答えです。

think globally act locally

・グローバルに考えて、シンク グローバリー、アクト

・ボランティアセンターのホームページにアクセスしてみてください。

・ボランティアに対する希望で

す。ボランティアは確かに変わ



つてまいりましたし、非常に多様化しております。そのボランティアに対して、計画的、継続的に取材をお願いしたい。それによつてボランティアの現状、その持つメリット、デメリット、問題点、課題をぜひ提起していただきたい。

池田：ボランティアというのを生活の中の普通のことというふうに考えてやつてみたらどうでしょう。まず自分が思ったことをやつてみると、それからだんだんいろいろなところに広がつていくのではないかと。あまり私もそんな経験があるわけではないので偉そうなことは言えませんが、そうしなければいけないなど自分で思つてゐる次第です。

一つは、この国際年といふのは毎年国連が世界各国の人たちに訴えかけている、現在、私たちが抱えている問題について国際的に考えてみよう、行動してみようということで設定しているものでございます。毎年どんな場合でも、国際何々年と書いてあるんですね。二〇〇一年だけが「ボランティア国際年」なんです。



意見を述べる国連名誉大使の中田武仁さん

中田：二つのことについて留意していただきたいと思

また、国連ボランティア名誉大使の中田武仁氏から次のような意見がありました。

これは大変に象徴的な、日本における考え方を代表した言葉づかいだと思います。「国際ボランティア年」とすると、では国内のボランティアはどうなるかというような議論が出てくる

かもしだないとおもんばかりつけてられた言葉ではないかと思います。

かたつた、ボランティアの国際年になつてゐるといふことが一となんです。これまで一度もな

もう一つは、国連が今まで定めていた国際年は、大体の場合その後についてくる言葉の人が受益者になるんです。ところがボランティアたちは受益者じゃないということです。国連が受益者ではない人たちを国際年としたというのは、大変に有意義なことだと私は思っています。

「」の「ボランティア国際年」という言葉の持つてゐる意味合いというものをよく気をつけていただきたいと思います。



重奏団（芸術福祉振興機構グレイス・ソサエティ）によるミニコンサートに続き、「私たちとボランティア」というタイトルで、ニュースキャスターの武内陶子さんとサッカー解説者で元ノリーガーの富澤ミシェルさんによるトークセッションが行われました。

以下の概要を

紹介します
武内：Jリーグとい
うのは地域に根ざし
て活動しています
ね。

富澤…そ�てすね。

会場への説明
会場の案内や切符切
りなどもボランティ
アです。

武内…ボランティア
というのも、随分
裾野^{すその}が広がった気が
します。それは、阪
神大震災がきっかけ
だつたのかもしれま

せん。私もその時大阪にいて取材をしましたが、普通の人がみんな一緒に活動をしていました。一昔前だとボランティア＝正しいものだとか、地味、暗いなどのイメージがあつたような気がするのですが、最近は変わってきてるんじゃないでしょうかね。

宮澤：ここにきて非常に変わっていくと思いますね。一人一人がボランティアの心を持つようになってきたと思うし、それを感じじることができるようになつてきました。

武内：ミシェルさんは、サッカーを子どもたちに教えていますか。

宮澤：やりたいからですね。自発性です。それから、自発性を生むためには、指導者の立場であれば、楽しさを教えないといけないし、苦痛になると想います。

武内：ミシェルさんはこれからもボランティアでサッカーを教えます。

武内：ボランティアでできるところから楽しんすればいいんですね。私も大上段に構えないで、自然な形でできればいいのかなと今日は思いました。

若干の休憩を挟み、最後にマイクジャック「二十一世紀への私へのV宣言」と題して、第二部のゲストや参加者の方たちがボランティア活動への意欲や今後の展望、ボランティアを通じた社会参加の在り方などについての意見等が出されました。

—〇〇一年ボランティア国際年
キックオフ記念シンポジウムは盛況のうちに閉会しました。

(経済企画庁)



「ボランティア国際年 記念シンポジウム」 開催のお知らせ



パーティーくん

ボランティア活動についての理解や
ボランティア活動への糸口を見つけていただくことを目的として
経済企画庁、地方公共団体、各地のボランティア団体が協力して
全国各地で「ボランティア国際年記念シンポジウム」を開催します。

ボランティア国際年記念フォトコンテストの
入賞作品を展示する写真展も併設予定です。

みなさまお誘い合わせのうえ、
多数のご来場をお待ちいたしております。

(平成13年)

開催地	開催月日	時 間	会 場
神 戸	1 / 20(土)	13:00~17:30	兵庫県公館
	1 / 21(日)	10:30~16:00	神戸クリスタルタワー クリスタルホール デュオこうべ デュオドーム 神戸ハーバーランド スペースシアター
京 都	1 / 23(火)	10:30~15:30	京都産業会館8階シルクホール
長 崎	2 / 3(土)	10:30~16:20	長崎ブリックホール、長崎県総合福祉センター
盛 岡	2 / 16(金)	10:00~15:00	岩手県民会館中ホール
甲 府	2 / 24(土)	13:00~19:30	山梨県ボランティアセンター
	2 / 25(日)	9:00~15:30	山梨県立文学館
徳 島	3 / 4(日)	13:30~16:45	徳島県郷土文化会館
熊 本	3 / 10(土)	10:00~17:00	熊本市総合女性センター
	3 / 11(日)	9:00~17:00	
福 井	3 / 18(日)	10:00~17:00	福井県国際交流会館